# ガザ紛争による飢餓に関する共同声明

2024 年 2 月 14 日

私たちは、ガザ地区における飢餓を回避するため、また国連安保理決議 2417（2018 年）[1]を遵守する唯一の方法として、即時かつ恒久的な停戦と人道支援への大幅な資金増額を求めます。民間人への人道支援は、国際人道法上の義務であり、戦争の手段として民間人を飢餓に陥れるような行為を非難する国連安保理決議 2417[2]の要求に効果的に対処し、遵守するために、早急な措置を講じる必要があると考えます。

敵対行為とガザ地区封鎖の継続により、ガザでは飢餓の危機が日ごとに高まっています [3]。2023 年末からの総合的食料安全保障レベル分類（IPC）[4]の分析結果によれば、ガザ地区で暮らすすべての人口が飢餓レベルの生活を送っており、4 世帯に 1 世帯、つまり 50 万人以上が壊滅的な状況に直面しています。これは、IPC の 5 段階の中でも、食料安全保障上の危機的状況にある人口の中で最も高い割合です。事実、全世帯が毎日食事の事欠いており、何日も食事をとらない家庭もあります。2023 年 10 月 7 日以前、ガザ地区では急性栄養不良はほとんど

---

[1] 紛争と飢餓を関連づける決議。武力紛争のすべての当事者に対し、農業、市場、工場、水道などの食料生産と配給に必要な用具の整備を含め、国際人道法に基づく義務の遵守を訴えるほか、国際人道法によって禁じられ、「戦争犯罪の構成要素となる可能性のある」、戦争の手段として一般の民間人を飢えさせる行為を強く非難している。

[2] https://www.securitycouncilreport.org/atf/cf/%7B65BFCF9B-6D27-4E9C-8CD3-CF6E4FF96FF9%7D/s_res_2417.pdf

[3] https://reliefweb.int/report/occupied-palestinian-territory/gaza-strip-ipc-acute-food-insecurity-november-2023-february-2024-december-21-2023

[4] IPC とは食料不安を測る世界標準で、食料が十分にある状態 から飢饉に至るまでの 5 つの段階に分類されている。5 段階は以下の通り。
「食料が十分にある状態（IPC フェーズ 1）」：活動的で健康的な生活を送るために必要な、十分で安全かつ栄養価の高い食品を手に入れることができる。栄養不良の人口は 5%未満で、殆どの人が、1 日 2,100 キロカロリー以上の量と質の安定した食事を取ることができる。
「食料不安（IPC フェーズ 2）」：人々が基本的ニーズを満たすことが難しくなり、食料以外のニーズを満たすために大幅な犠牲を余儀なくされる。所得は維持できず、人口の 5～10%が急性の栄養不良に陥り、1 日あたり 2,100 カロリーの摂取にとどまり、食料ニーズを満たすのにかろうじて必要な食事が得られる状況。
「急性食料不安（IPC フェーズ 3）」：必要不可欠な財産を売ることでしか最低限の食料ニーズを満たすことができない人や、限られた食事を得るために必要不可欠な資源を使い果たしてしまう人がいる状況。食料の選択肢は限られており、人口の 10～15%が急性栄養不良に陥り、人々の収入に深刻な支障をきたす。
「人道的危機（IPC フェーズ 4）」：急性栄養不良のレベルが高く、飢餓による死亡のリスクが急速に高まっている状態。所得の損失は不可逆的であり、人口の 15～30%が急性栄養不良に陥っており、1 日に摂取するカロリーは 2,100 キロカロリー以下。
「飢饉（IPC フェーズ 5）：飢餓の最も深刻なフェーズ。1 万人のうち少なくとも 2 人が餓死または飢餓に関連する原因で病死。人口の 30%以上が急性栄養不良に陥り、収入も途絶えてしまっている。一人一日当たりのカロリーは極端に不足し、20%の家庭が極端な食料不足に直面。
参考：国連 WFP https://ja.wfp.org/stories/shiliaokashifenniaruzhuangtai-karajikinnizhirumateno5tsunoduanjie

見られませんでしたが、**国連は、今後数カ月で、ガザ地区の子どもの栄養不良が 27%増加すると予測しています** [5]。

国連 [6]および国際人権 NGO ヒューマン・ライツ・ウォッチ [7]、人道支援団体 [8]は、ガザ地区では民間人に対し、戦争の手段として飢餓が使用されていると警告しています。民間人の飢餓は国際人道法上違法であり、国連安保理決議 2417 に反しています。

紛争発生前は、人道的食料支援が人口の 3 分の 2 以上の生活を支えていました。しかし現在では、暴力、治安の悪化、アクセス障害により、食料支援のニーズは急増したものの、人道支援は減少しています。イスラエル軍によるガザの包囲戦術によって、支援物資の輸送は妨げられています。国際人道法は、紛争当事者は支援への迅速で自由なアクセスを促進する義務があるにもかかわらずです。また、支援物資の配布場所を含む人口密集地への砲撃が続いていること、イスラエルがガザ北部やその他の地域への人道支援ミッションを拒否していることも、人道支援を困難にさせています。

乳幼児や妊娠中・授乳中の女性は、紛争が激化する以前よりも脆弱な立場に置かれています。食料、水、必要な救命サービスへのアクセスが不十分なため、**栄養不良や病気にかかる可能性が高く、死亡率や罹患率のリスクが高まっています。**

**十分な水と衛生設備がないことで、下痢や病気が蔓延し、食事摂取量とともに栄養不良を引き起こしています。**イスラエルから引かれている 3 本の水道パイプラインのうち稼働しているのは 1 本のみで、北部州では清潔な水を利用することができません。貯水池を含む少なくとも 20 の水道施設が、破損または破壊されています。燃料不足も水インフラに深刻な影響を与えています。町のいたるところで貯めこまれた約 5 万トンもの固形廃棄物の除去は、保健衛生上の優先事項となっています。

**食料生産と流通のインフラが破壊され、商業輸入が制限されたことで、食料へのアクセスは困難になっています。**国際連合人道問題調整事務所（OCHA）の報告 [9]によると、10 月 7 日以前

---

[5] https://www.unicef.org/press-releases/preventing-famine-and-deadly-disease-outbreaks-gaza-requires-faster-safer-aid-access
[6] https://www.ohchr.org/en/press-releases/2024/01/over-one-hundred-days-war-israel-destroying-gazas-food-system-and
[7] https://www.hrw.org/news/2023/12/18/israel-starvation-used-weapon-war-gaza
[8] https://www.oxfam.org.uk/oxfam-in-action/oxfam-blog/the-world-cannot-stand-by-as-starvation-is-used-as-a-weapon-of-war-in-gaza/#:~:text=Oxfam%20has%20warned%20that%20starvation,illegal%20under%20International%20Humanitarian%20Law.
[9] https://reliefweb.int/report/occupied-palestinian-territory/hostilities-gaza-strip-and-israel-flash-update-102-enarhe

にガザ地区で営業していた 97 軒のパン屋のうち、現在も営業しているのはわずか 15 軒です。衛星画像からは、多くの漁港、市場、温室、農地が破壊されているのが判明しています。

必要な食料支援が妨げられていること、農場、給水設備、製粉所、食料加工・貯蔵場所、ハブ、食料輸送手段を含む食料生産・流通インフラを標的にすることは、**国連安全保障理事会決議 2417 に違反する行為です。**この決議は、飢餓と、戦争の武器として飢餓を利用することを非難するもので、2018 年に全会一致で承認されています。

国際司法裁判所から最近出された暫定措置は、イスラエルに対し、食料支援や安全な飲料水など、ガザで緊急に必要とされる基本的なサービスや人道支援を提供できるよう、即時かつ効果的な措置を講じるよう求めています。**第三国は、すべての当事国がガザに十分な支援が入ることを許可し、タイムリーでアクセスを妨げる障壁を取り除くことを確認する法的義務を負っています。**

飢餓のリスクを回避する唯一の方法は、保健サービス、水と衛生サービス、漁業と農地、市場の回復を通じて、健康、栄養、食料安全保障の悪化と罹患率の増加を直ちに食い止めることです。飢餓の回避は、敵対行為が続いている状態では不可能です。即時かつ恒久的な停戦と、ガザ地区全域での援助アクセスの拡大を求めます。

＜賛同団体一覧＞
Action Against Hunger
ActionAid
Danish Refugee Council
Humanity and Inclusion / Handicap International (HI)
Insecurity Insight
INTERSOS
Islamic Relief USA
Mercy Corps
Norwegian Refugee Council
Plan International
Project Hope
Save the Children
Solidarités International
Tarjimly
War Child Alliance

英文オリジナルは https://plan-international.org/news/2024/02/14/statement-on-conflict-induced-hunger-in-gaza/ に掲載されています。